

成果指標 3. 死傷事故発生率

安全で安心な生活を送るために、交通事故を減らす道路整備が求められています。このため、安全な道路整備を定量的に示す成果指標として、死傷事故件数と自動車走行台キロあたりの死傷事故件数の割合を採用しています。

$$\text{死傷事故発生率} = \frac{\text{死傷事故件数（件／年）}}{\text{自動車走行台キロ}}$$

* 対象道路：高速道路、国道、県道（死傷事故件数も、県道以上の年間の件数）

* 自動車走行台キロ = 走行台数 × 走行距離（1億台キロあたりに換算）

成果に向けた取組み

■ 規格の高い道路を利用する割合の向上

ダブルラダー路線等の幹線道路ネットワークの整備により、規格の高い道路を利用する割合を向上させ、現道も含めた死傷事故の低減を図ります。

■ 事故危険箇所・あんしん歩行エリアにおける安全対策

局所的な事故危険箇所における交差点の改良や道路照明の設置などの重点的な安全対策や道路整備と交通規制を面的かつ一体的に実施するあんしん歩行エリアの整備を行います。

■ 事故低減に効果のある工法の採用

高速道路等における排水性舗装など、事故低減に効果のある工法を採用します。

成果指標の動向

- 死傷事故発生率は、平成 14 年度の 70.4 件／億台キロから、平成 15 年度の 69.4 件／億台キロへと 1.0 件／億台キロ減少しましたが、目標を若干下回りました。平成 16 年度は、交差点改良や事故危険箇所での対策実施により、平成 14 年度実績から 1.7 件／億台キロの減少を目標とします。

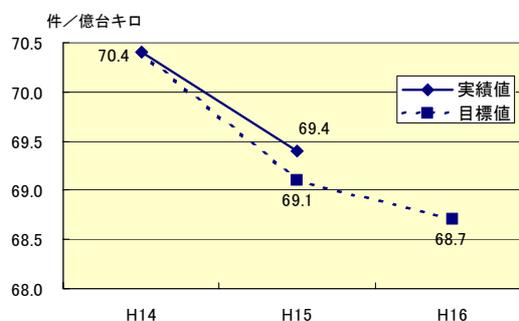
- 死傷事故件数は、平成 14 年度の年間 4,766 件から、平成 15 年度の年間 4,738 件へと年間 28 件減少しましたが、目標を若干下回りました。平成 16 年度は、平成 14 年度実績から 56 件の減少を目標とします。

死傷事故発生率

平成 14 年度の実績		70.4 件／億台キロ
平成 15 年度	計画	69.1 件／億台キロ
	実績	69.4 件／億台キロ
平成 16 年度の目標		68.7 件／億台キロ

死傷事故件数

平成 14 年度の実績		4,766 件
平成 15 年度	計画	約 4,720 件
	実績	4,738 件
平成 16 年度の目標		約 4,710 件



達成度報告（平成 15 年度の成果）

■ 平成 15 年度に供用した主な箇所

路線名	区間	延長	整備内容
①国道 159 号津幡バイパス	かほく市 ^{うちひすみ} 内日角～津幡町舟橋	4.2km	新設（バイパス）
②(主)七塚宇ノ気線	かほく市白尾 ^{うちひすみ} ～内日角	0.9km	拡幅（2→4 車線）
③国道 8 号 6 車線化	金沢市南新保交差点（海側）	—	交差点改良
④(一)近岡諸江線			

■ 規格の高い道路を利用する割合

項目	H14 末	H15 末計画	H15 末実績
規格の高い道路を利用する割合	12.4%	12.7%	12.7%
規格の高い道路の延長	172.5km	179.7km	179.7km

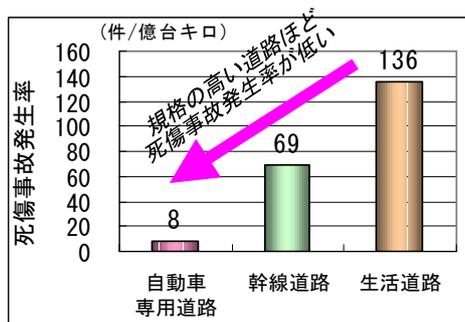
規格の高い道路を利用する割合

$$= \frac{\text{（規格の高い道路の年度内の走行台キロ）}}{\text{（全道路の年度内の走行台キロ）}}$$

※規格の高い道路とは、自動車専用道路や平面交差・歩道がなく、沿道からのアクセスが制限された道路のこと

死傷事故発生率が低い自動車専用道路（規格の高い道路）を利用する割合を高めることにより、死傷事故発生率の低減が期待できます。

道路種別の死傷事故発生率（石川県）

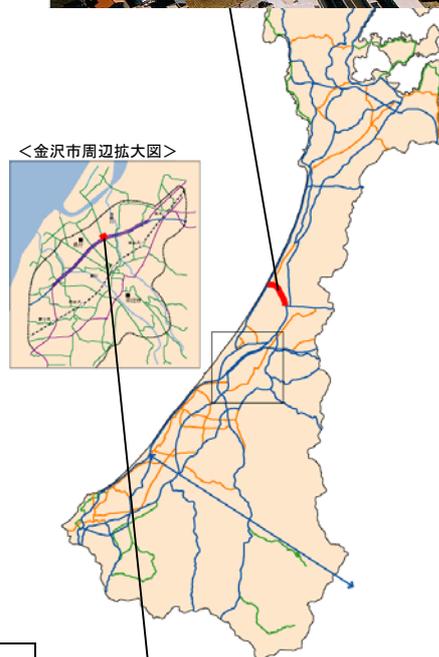


■ 県内あんしん歩行エリア指定地区

市町名	地区名
金沢市	1 彦三 (106ha) 2 中央 (176ha) 3 寺町 (189ha)
	4 中村 (101ha) 5 西部 (204ha) 6 西南部 (150ha)
七尾市	7 袖ヶ江御祓 (99ha)
小松市	8 芦城 (230ha)
加賀市	9 大聖寺 (100ha)
松任市	10 松任中央 (200ha)
野々市町	11 野々市南部 (185ha)
内灘町	12 内灘 (100ha) <未着手>

() は指定地区面積

①国道 159 津幡バイパス
②(主)七塚宇ノ気線



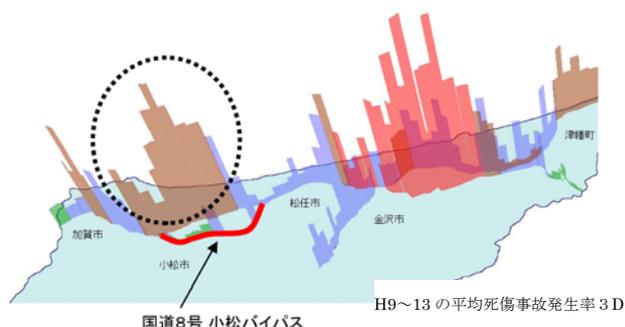
③④南新保交差点 ((一)近岡諸江線)



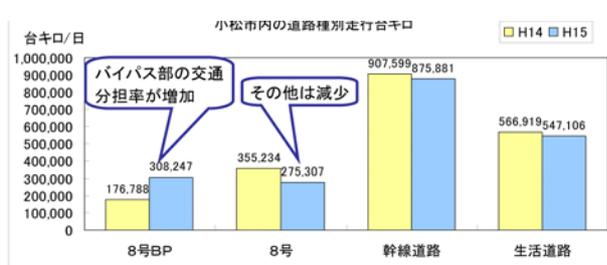
■ 小松バイパスの供用により、地域全体で事故件数が減少

小松バイパスが供用したことにより、平成 15 年は、国道 8 号（現道）や他の幹線道路、生活道路から交通量がバイパスに転換し、小松地域全体で死傷事故件数が減少しました。

○石川県の死傷事故率の状況

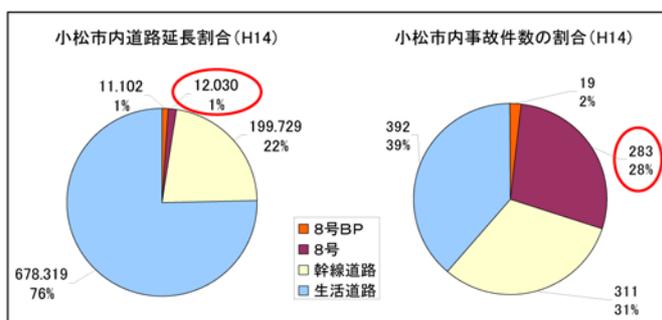


○小松市における道路種別毎走行台キロの変化

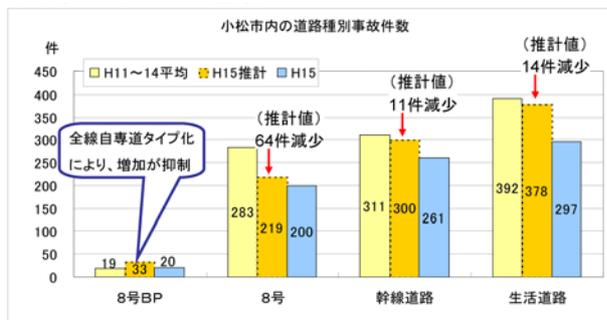


・小松バイパスにより、小松市全体における交通分散が図られた。

○小松バイパスの効果



・小松市内の道路延長の約1%に約3割の事故が発生



・小松市 事故の減少件数227件(1,005件/年 → 778件/年:23%)
 ・走行台キロの変化率から推計される事故の減少数は89件
 ・小松バイパスの効果は、全減少数の約4割と考えられる。

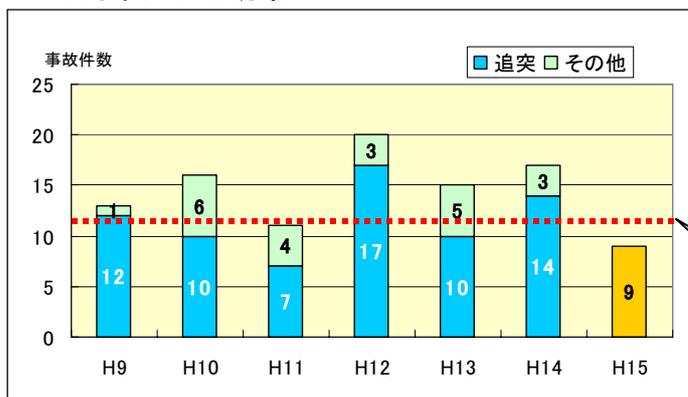
■ 国道 8 号徳丸北交差点の改良により、事故件数が減少

国道 8 号徳丸北交差点が改良されたことにより、平成 15 年は、交差点の死傷事故件数が減少しました。

交通事故対策の内容

- 小松方面の右折レーンを新たに設置し、右折車両の滞留空間を確保
- 渋滞の回避、追突の未然防止を図る

●対策による効果



※H15 は速報値のため内訳不明



過去6年間平均

業績計画（平成 16 年度の取組み）

■ 平成 16 年度に供用を予定している主な箇所

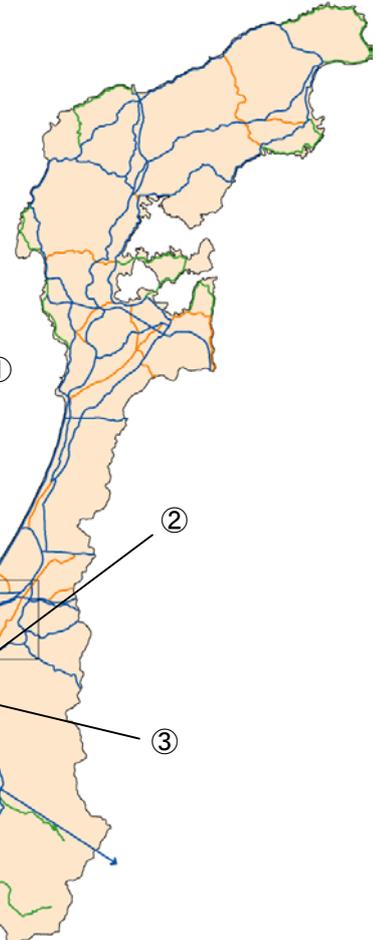
路線名	区間	延長	整備内容
①国道 8 号西念交差点	金沢市南新保～二宮	1.0km	交差点立体化
②国道 157 号安養寺北交差点	鶴来町安養寺町	—	減速路面標示 道路照明設置
③国道 157 号天狗橋詰交差点	鶴来町大国町	—	
④国道 364 号黒瀬拡幅	加賀市黒瀬	0.3km	拡幅

■ 規格の高い道路を利用する割合の向上

- ・ H16 年度に供用する区間はないのですが、現在、金沢東部環状道路、能越自動車道穴水道路などの規格の高い道路の整備を進めています。
- ・ 既存 SA、PA に、ETC 専用ゲートを設置するスマート IC の社会実験を行い、北陸自動車道の利用率向上により死傷事故件数の低減を目指します。



<金沢市周辺拡大図>



■ 県内の事故危険箇所

10 年に 1 度以上の確率で死亡事故が発生する恐れの高い箇所、又は幹線道路の平均事故率の 5 倍以上の事故率である 22 カ所が、平成 19 年度までに集中的な対策を実施する箇所（事故危険箇所）に指定されています。これまで 2 カ所が対策済みとなっており、平成 16 年度は 14 カ所で対策を実施しており、そのうち 8 カ所の対策が完了する予定となっています。対策済みの箇所については、当面の間、事故状況を調査し、その効果を検証することとしています。

	市町村名	路線名	箇所名	市町村名	路線名	箇所名	
未対策	加賀市	国道 8 号	熊坂町	金沢市	(一) 八田金沢線	乙丸町～浅野本町(事業中)	
			千木交差点(H16完)		(一) 別所野町線	野田町交差点(事業中)	
			南新保交差点(H16完)		(一) 金沢停車場北線	金沢東警察署前交差点(事業中)	
	金沢市	国道 157 号	むさし交差点	松任市	国道 8 号	乾町交差点(H16完)	
			有松交差点			倉光東交差点(H16完)	
		国道 159 号	東山 1 丁目 3	鶴来町	国道 157 号	(一) 八日市松任停車場線	松任駅前交差点(事業中)
			鳴和交差点			安養寺北交差点(H16完)	
	(主) 金沢湯涌福光線	広坂交差点(事業中)	鹿島町	国道 159 号	天狗橋詰交差点(H16完)	徳前交差点(H16完)	
		(主) 金沢美川小松線			増泉交差点(事業中)	ラピア鹿島交差点(H16完)	
	対策済み	金沢市	(一) 金沢停車場南線	元車交差点	松任市	国道 8 号	徳丸北交差点

※対策内容は、事故発生状況に応じ、路面標示や道路照明等を実施。

※本表は、H8～H11 年データをもとに抽出された箇所であり、その後の改良等により改善された箇所も含む。